

JLEM News Letter Vol.30



第35回日本語教育方法研究会開催

発表 48 件

第36回は首都大学東京にて

2010年9月11日(土)、第35回日本語教育方法研究会が金城学院大学で開催されました。内山潤先生はじめ、金城学院大学の皆さま、大変お世話になりました。

前日9月10日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

キャンパス手前には「三井アウトレットパーク南大沢」、南大沢駅前には日本初の肉料理のテーマパーク「東京ミートピア」もありますので、お立ち寄りになってはいかがでしょうか。皆様のお越しをお待ちしております。

次回開催にあたって

長谷川守寿
(首都大学東京)

次回JLEMは、2011年3月26日(土)に首都大学東京南大沢キャンパスで開催されることになっております。南大沢キャンパスは、京王線新宿駅から電車で約1時間ほどのところにあり、南大沢駅で降りていただいて徒歩5分ほどで着きます。

南大沢がある八王子地域は、23大学等がある学園都市で、留学生センターや留学生別科を持つ大学が多く、3100名を超える外国人留学生がおり、日本語教育の盛んな場所です。またボランティアでの日本語教室も多く、今回の開催で、日本語教育に対する地域の関心が高まる機会になればと期待しております。

南大沢の周りでは、NHKの連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」のロケが行われた深大寺周辺や、水木しげるご夫妻の住まいにほど近い調布駅周辺の散策がおすすめです。また、

運営委員会報告

大会前日の9月10日17時から金城学院大学のW9-502号室にて第35回運営委員会が開かれました。会議で話し合われたことを以下にご報告いたします。

1. バックナンバーの電子化が完了しました。また、電子化への許諾についても、目下のところ「希望しない」というお申し出はなく、前号でもお知らせしたとおり、2011年3月31日までにご連絡がない場合には、お認めいただいたということで対応致します。

2. バックナンバーを含め、研究会誌掲載の論文については、国立情報学研究所が運営する論文情報ナビゲータ『CiNii』に搭載する方向で検討することになりました。『CiNii』搭載論文は主に学会論文ですが、JLEMも対象学会として認めてもらえるそうです。論文の搭載には費用は発生しません。また、閲覧料金を無料とすれば、CiNiiの

会員でなくても、自由に無料で閲覧が可能になります。詳細は本ニュースレターの『『CiNii』掲載に関するご意見募集』の項をご参照ください。なお、この件につきましては、皆さまからいただいたご意見をもとに次回の運営委員会で最終案をまとめ、2011年3月に開かれる総会に諮ることいたします。

3. 今後の研究会の開催予定校は次の通りです。

・2011年春：首都大学東京

(3月26日)

・2011年秋：京都外国語大学

4. 20周年記念行事は、皆さまからいただいたアイデアをもとに、つぎのような形で進めることになりました。

① 2013年春の研究会を講演・座談会あるいはワークショップ等を加えた形で開催する

② 会誌の2013年春の号を20周年記念号として発行する

③ 記念号には通常の発表原稿のほかに、20年間のJLEMの流れを示すことのできるレビュー、20年間の著者名、論文名一覧等を掲載する

④ 過去の論文をCD-ROMの形にして配布する

なお、詳細については、運営委員会内に20周年記念行事ワーキンググループを作り、検討していくことになりました。(川村よし子)

事務局よりご連絡

金庭久美子

●会誌の電子化の許諾について
ホームページでもご案内してお

りますが、会誌の電子化作業（PDF ファイルを CD-ROM に保存）を進めております。これまでに「会誌原稿電子化許諾のお願い」を電子メールでお送りしましたが、連絡がとれない方が多数いらっしゃいます。Vol.1-No.15(1993年□2008年)に発表された方で電子化を希望しない方は、「日本語教育方法研究会電子化係」までご一報ください。

(jlemdenshika@hotmail.co.jp)

尚、2011年3月31日までにご連絡がない場合は、お認めいただいたということで対応したいと思いません。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

●会誌の送付について

5月末で会費の確認ができない方は9月以降の会誌の送付を中止しております。今回お送りした封筒のラベルに書かれている数字をご覧になり、払込年度をご確認ください。会費の納入方法はホームページをご参照ください。2010年度の会費を12月中に送金いただいた方には2011年3月に2010年秋（Vol.17-2）と2011年春（Vol.18-1）の会誌2冊をお送りします。

●バックナンバーについて

会誌バックナンバーの販売を行っております。一冊700円（プラス送料実費）です。購入ご希望の方は事務局までご連絡ください。おまかな在庫はホームページに掲載しておりますが変動もございまして、ご参照の上、事務局宛メールでお問い合わせください。（金庭 久美子）

CiNii について

ご意見を募集します

運営委員会では会誌のCiNii（NII 論文情報ナビゲータ <http://ci.nii.ac.jp/>）への全文掲

載、無料公開を提案します。CiNii は国立情報学研究所が提供する論文データベース・サービスで、学会誌や紀要など1300万件（2010年）以上の論文を収録しています。問い合わせた結果、JLEM会誌も収録可能だそうです。

現在進めているJLEM会誌の電子化は、CD-ROMなどによる会員内部のデータ公開を想定していました。しかし、CiNii掲載によって広く一般に公開されれば、(1)研究内容・成果に広くアクセスしてもらえる、(2)長期的なデータ保存が約束される、(3)一般公開や問い合わせ対応用の会誌バックナンバー発行部数と郵送料が節約できる、などのメリットが生じます。

検討すべき課題としては、会誌入手という会員のメリットが薄まり、会員数の保持への影響が心配されますが、運営委員会では、会員にとって最大のメリットは研究会への参加と発表の機会があることであり、会誌のCiNii掲載によって広く発表内容を見てもらえることは、JLEMの発展にもつながるであろうと考えました。また、CiNii掲載時期を一定期間（例えば1年）遅らせることで、最新情報は冊子の形で会員と研究会参加者だけが保有できます。このほか、過去の会誌の扱いについても検討し、次回の総会で正式に提案する予定です。

決定されれば、CiNii掲載について改めて発表者による許諾を得る手続きを行います。この件について会員の皆様のご意見をメールで事務局までお送りください。

会誌のお詫び

編集委員

2010年9月に発送しました
Vol.17 No.2に編集ミスがございま

した。会誌 pp.60-61 に本来掲載されているべき「口頭発表技能の到達目標と学習計画の精緻化を目指したコースデザイン」（衣川隆生氏・森仁美氏）が別の原稿になっていました。両氏には改めて、お詫び申し上げます。「口頭発表技能の到達目標と学習計画の精緻化を目指したコースデザイン」は、次回2011年3月にお送りする会誌の末尾に掲載させていただきます。

ご連絡先を

お知らせください

下記の方々の連絡先が不明となっております。ご存じの方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。

田千采/田渕七海子/寅丸真澄

増倉洋子/鹿内 薫/洪 在賢/
村上康代/伊藤美希/道脇綾子/
小林友美/趙 恩英

会費納入について

5月末で会費の確認ができない方は9月以降の会誌の送付を中止しております。ラベルの納入年度をご確認ください。会費は年 3000 円です。

振込先：（郵便局）

記号 10140

番号 69076511

加入者：日本語教育方法研究会
* 海外からの会費払い込みについては、国際郵便為替でお支払いください。

*
問い合わせ先：jlem-ml@tiu.ac.jp

第36回研究会（於 首都大学東京） 発表申込のご案内

事務局 金庭久美子

会員の皆様

益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

研究発表の募集を行う時期となりました。発表をご希望の方は以下の要領を厳守の上、Eメールでお申込をお願い致します。Eメールでの応募が困難という場合は事務局までご相談ください。例年より締め切りが早くなっております。必ず下記「発表までのスケジュール」をご確認ください。多数のお申込をお待ち申し上げます。

● [発表申込み・発表の問い合わせ専用アドレス]: jlem-happyo-ml@tiu.ac.jp

● [発表資格, 発表内容]:

- 1) 発表者（複数の場合は全員）は応募および発表の時点で会員でなければなりません。
- 2) 発表内容は日本語教育に関係する（あるいは貢献しうる）オリジナリティのある未発表の研究に限ります（他の学会・研究会等での発表等に応募中のものは二重投稿となります。ご遠慮ください）。特に、教育実践を意識した発表を歓迎します。

● [応募要領]: 円滑な事務処理のため、要領を厳守の上ご応募下さいますよう皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

・ 件名: 1103 発表申込 () ←数字半角 () 全角, 中に申込者氏名を入れてください。

・ メール本文に記載する情報 (必ずメール本文にご記入ください。添付書類不可です)

1) 発表題目

2) 発表要旨: 100□ 200字程度。分量をお守りください。

注): 発表申込時の題目や内容を会誌原稿提出時に変更される方が相次いでおります。申込時に十分ご検討くださいますようお願い申し上げます。

3) 発表者氏名・ふりがな:

発表者が複数の場合は筆頭者の名前の後ろに「(筆頭者)」と書き加えてください。

注) 発表者は申込時に会員であることが必要です。会員でない方は申込前に入会手続きをお済ませください。入会申込は電子メールで可能です。詳しくはニュースレターやHPをご参照ください。なお、海外在住等で事前に入会することが困難な場合はご相談ください。

4) 所属: おありの場合。学生の方は必ず「大学院生」等にご記入ください。

- 5) 住所：連絡のつくところ。所属・自宅の区別もご記入ください。
- 6) 電話番号・FAX：連絡のつくところ。所属・自宅の区別もご記入ください。
- 7) Eメールアドレス：普段使用しているものをご記入ください。
- 8) 共同研究者の氏名・所属：共同研究者がおありの場合ご記入ください。

注）共同研究者は会誌原稿の執筆者になれません（注などで謝辞として名前を挙げることは可能です）。また、「発表」もできません（受付で当日会員の手続きを取れば会場に入り研究会に参加することはできます）。会誌原稿に名前を掲載する方や発表を行う方はかならず「発表者」として申し込んでください。その際も「発表者は申込時に会員であること」という条件が適用されますのでご注意ください。

- 9) 使用希望の機器：希望がおありの場合ご記入ください。

注）口頭発表時・ポスター発表時毎に分けて使用希望の機器をご記入ください。

基本的には、口頭発表時の使用機器は研究会で準備をいたしますが、ポスター発表時の使用機器は発表者各自でご準備をお願いします。

- 10) その他：ご遠方の方などで発表時間等について事務局への連絡事項がございましたらお書きください。なお、発表時間についてはお申し出を極力考慮いたしますが、ご希望に沿いかねる場合もございますことをあらかじめご了承ください。

● [会誌の電子化承諾について]

会誌の電子化作業を進めております。その手続きの一環として、特にお申し出のない限り発表申込と同時に電子化の承諾をしていただいたものとして取り扱います。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

● [発表申込に関するご返事]

発表申込受け付け後、折り返し事務局より「発表申込受領」のメールをお送り致します。数日経っても事務局からのメールが届かない場合は、念のため事務局に確認のご連絡をお願い致します。

● [発表までのスケジュール]

申込締め切り	1月10日（月）
会誌原稿締め切り	2月7日（月）
会誌・プログラム発送	3月中旬（予定）
研究会	3月26日（土）（於 首都大学東京）

● 本件に関する問い合わせ先：（E-mailにてお願いします）

東京国際大学言語コミュニケーション学部 川村研究室気付 JLEM 事務局 金庭久美子

E-mail : jlem-happyo-ml@tiu.ac.jp

以上.